

「使用上の注意」改訂のお知らせ

持続性 Ca 拮抗剤

日本薬局方 アゼルニジピン錠

アゼルニジピン錠 8mg 「NP」

アゼルニジピン錠 16mg 「NP」

2026 年 8 月

ニプロ株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」を自主改訂により下記のとおり改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。

本剤のご使用に際しましては、電子添文の各項を十分ご覧くださいますようお願い申し上げます。

＜改訂のポイント＞

禁忌、相互作用(併用禁忌)：「ツカチニブ エタノール付加物」、「ロナファルニブ」を追記

記

改訂後(_____ 下線：追加記載)			改訂前(_____ 下線：削除)		
2. 禁忌(次の患者には投与しないこと) 2.1 ～ 2.2 現行のとおり 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール(経口剤、注射剤、口腔用剤)、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ボサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤(リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤)、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブ、ツカチニブ エタノール付加物、ロナファルニブを投与中の患者[10.1、16.7.1 参照]			2. 禁忌(次の患者には投与しないこと) 2.1 ～ 2.2 略 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール(経口剤、注射剤、口腔用剤)、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ボサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤(リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤)、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブを投与中の患者[10.1、16.7.1 参照]		
10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと)			10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド セリチニブ ジカディア ツカチニブ エタノール付加物 ツカイザ ロナファルニブ ゾキンヴィ [2.3 参照]	現行のとおり	現行のとおり	クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド [2.3 参照] セリチニブ ジカディア [2.3 参照]	略	略

【改訂の理由】

○「禁忌」、「相互作用(併用禁忌)」の項

相手薬との整合を図り、「ツカチニブ エタノール付加物」、「ロナファルニブ」を追記致しました。

以上

今後とも当社製品のご使用にあたって副作用等の有害事象をご経験の際には、当社MRまで、できるだけ速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◎DSU(医薬品安全対策情報) No.348掲載予定 (令和8年9月発行予定)

◎最新の電子添文は医薬品医療機器総合機構の「医療用医薬品情報検索ページ」(<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>)に掲載しています。また当社医療関係者向けホームページ(<https://med.nipro.co.jp/pharmaceuticals>)にも掲載しています。

また、専用アプリ「添文ナビ」で下記GS1バーコードを読み取ることで、最新の電子添文等をご参照いただけます。

アゼルニジピン錠 8mg、16mg 「NP」

